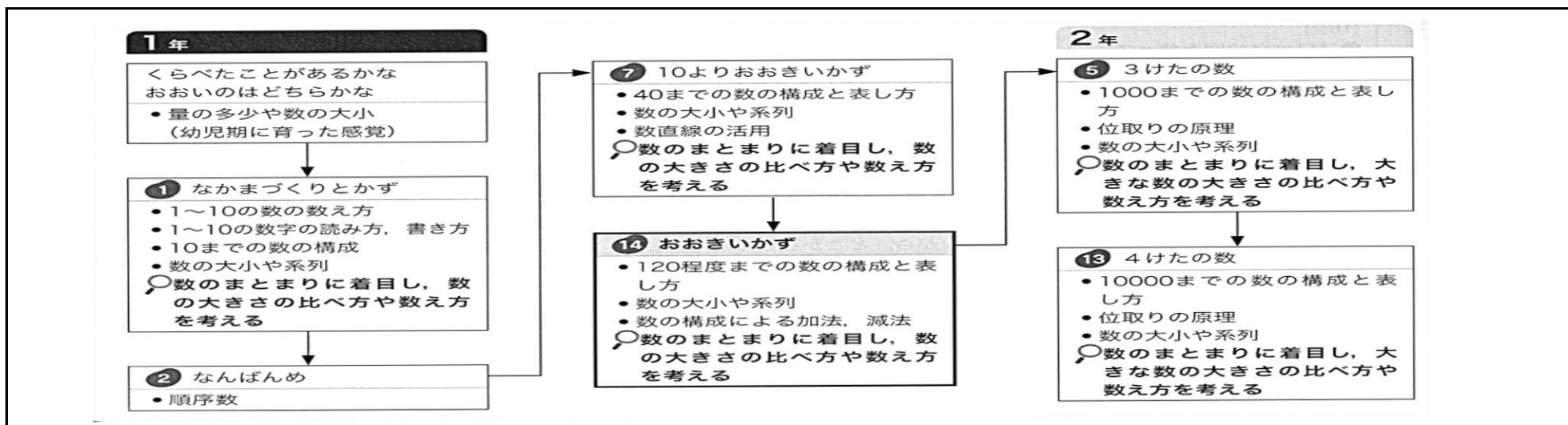


14	おおきいかず	指導時間数	14時間	教科書	②91～105 ページ	指導時期 目安	12月上旬
----	--------	-------	------	-----	-------------	------------	-------

◎学習指導要領	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク), イ(ア) (2)ア(エ), イ(ア)	◎用語	十の位, 一の位, 10のまとまり, ばら, 10が10こで百, 100, 101～124
◎単元目標	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10を単位として数をとらえる力及び数の構成に着目して数の計算の仕方考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。		
◎単元評価規準	【知・技】	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2位数の数の構成を加法や減法の式に表している。	
	【思・判・表】	既習の数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	
	【態度】	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	

◎単元の学習の関連と発展



◎指導計画・評価計画

時間	学習目標	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) おおきいかずをかぞえよう ②p.91～96 5時間				
1 (本時)	2位数の数え方、唱え方を理解する。			●既習を基に、2位数の数え方や読み方、書き方などを考えようとしている。
2	2位数の位取りの原理と記数法を理解する。	●位取り記数法は書く位置の違いを利用して表していることを理解し、2位数を書くことができる。		

時間	学習目標	評 価 規 準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 4	2位数の数え方の理解を確実にする。	●40より大きい個数を10ずつまとめて数えることができる。	●「10のまとまりがいくつと端数がいくつ」という数の見方を活用して、ものの数の数え方を考え説明している。	
5	2位数の構成を理解する。	●2位数の構成を理解し、数の構成を表すことができる。	●2位数を、位取りに対応して10のまとまりの数と10未満の数の合成として考え、言葉や位取り板、ブロックなどを用いて説明している。	
(2) 99より おおきい かず ②p.97～98 1時間				
6	100の唱え方、読み方、書き方を理解する。	●10が10こ集まると100になることを理解している。		
(3) かずの ならびかた ②p.99～100 2時間				
7	数表から数の並び方の規則性をとらえ、数の規則性や構成を説明することができる。		●位の数字に着目するなどして数表の数の並び方のきまりを考え、言葉などで説明している。	
8	100までの数の系列や大小を理解する。	●数直線と数に対応づける活動を通して、数の系列、大小を理解し、数直線を使って数を読んだり表したりすることができる。		
(4) 100より おおきい かず ②p.101 1時間				
9	具体物を数えることを通して、120程度までの数の唱え方や系列を理解する。	●100より大きい数について、100と1～2位数の合成ととらえればよいことを理解し、100より大きい数を数えたり唱えたりすることができる。		
(5) かずとしき ②p.102～104 3時間 ※本小単元の内容は「スパイラルのため重複させる内容」であり、次学年で確実な習得をねらう。				
10	2位数の数の構成(何十といくつ)を基にした加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。	● $30+4$ 、 $34-4$ などの計算は、数構成(何十といくつ)を基に考えればよいことを理解し、その計算ができる。		
11	繰り上がりや繰り下がりのない2位数と1位数との加減計算の仕方を、数の構成に着目して考え、説明することができる。	● $25+3$ 、 $28-3$ などの計算の仕方を理解し、計算することができる。	●数の構成に着目して、 $25+3$ 、 $28-3$ などの計算の仕方を考え、操作や図などを用いて説明している。	
12	2位数の数の構成(10がいくつ)を基にした何十±何十の計算の仕方を理解し、その計算ができる。	●何十±何十の計算の仕方を理解し、計算することができる。	●何十±何十の計算の仕方を、10を単位として考え、具体物や言葉を用いて説明している。	
まとめ ②p.105 2時間				
13 14	単元の学習を日常生活に活用して、問題を解決する。		●学習内容を適切に活用して問題を解決している。	●身の回りにあるものの数に興味をもち、単元の学習を活用しながらその数を数えようとしている。